

面談！ 「長期研修の実施状況」—その 5

北海道漁業就業支援協議会

令和 3 年 11 月 24 日

令和 3 年度の第 5 回目の面談は、登別市のいぶり中央漁協を訪れました。

雇用型研修の 1 年目の研修生 3 名からお話を聞くことが出来ました。面談には、胆振総合振興局水産課と胆振地区水産技術普及指導所に参加していただきました。



5 回目面談実施：R3 年 11 月 19 日(登別市)

項目 地区	研修生 出身地 年齢	研修 種類	漁業種類	期 間	備 考
いぶり中央 漁協	比嘉 翼 沖縄県 27 歳	雇用 1 年目	刺し網 えび・つぶ・たこかご	R.3.08/01～ R4.07/31	6 月フェア
	井内 真雄 北海道 19 歳	雇用 1 年目	刺し網 えび・つぶ・たこかご	R.3.08/01～ R4.07/31	6 月フェア
	本間 しょう 渉 北海道 21 歳	雇用 1 年目	刺し網 えび・つぶ・たこかご	R.3.06/01～ R4.05/31	2 月フェア

① 比嘉研修生

沖縄出身ですが、大阪で携帯ショップの店員をしていた時、地元(登別)の知人に紹介され登別市に来た。

職探しのために札幌フェアに参加し、親方に出会った。フェアでは、松前と登別の二つのブースで相談したが、色々な漁業をやっていることと地元(登別)であったことから今の親方を選んだ。

独立を目指して頑張っていくが、沖縄出身なので冬期間の暮らしが心配だ。



② 井内研修生

高校生の時は調理師を目指したが挫折した。高校の先生から漁業就業を進められ札幌フェアに参加した。

ブースを回ったとき、たまたま地元が近かったので、今の親方を選んだ。

将来は、親方もやっている潜水器漁業(ウニ、ナマコ)を自分でやりたい。



③ 本間研修生

元々、海、釣りが好きだった。地元漁師にも友達があり、母親から札幌フェアを薦められて参加した。

地元が近く、給料が一番良かったので、今の親方を選んだ。

親方を初め、仲間、周囲の人たちは優しく、楽しく仕事をしている。このような浜の状況を広く伝えることが必要だと思っている。

